



東証一部（証券コード 6848）

アナリスト・機関投資家向け 会社説明資料

東亜ディーケーケー株式会社

2021年11月29日

代表取締役社長 高橋俊夫

- 1. 会社概要**
- 2. 2021年度上期の業績およびトピックス**
- 3. 2021年度通期業績予想**

経営理念

『誠実・創造・挑戦』をモットーに地球環境保全と豊かで人にやさしい社会環境の実現に貢献します。

概要

代表取締役社長： 高橋 俊夫

所在地： 東京都新宿区高田馬場一丁目

設立： 1944年9月

資本金： 18億4,248万1千円

従業員数： 連結 574名 単独 382名

事業所：
▶狭山市：狭山テクニカルセンター
(開発研究センター、
医療関連機器生産棟)
▶東大和市：東京エンジニアリング
センター

営業拠点： 国内11か所

連結子会社： 国内4社

略歴

2000年 東亜電波工業と電気化学計器 (DKK) が合併し、東亜ディーケーケー 誕生

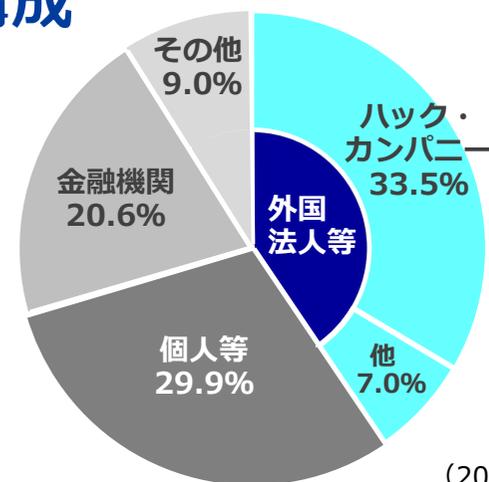
2005年 米国ハック・カンパニー (HACH) と業務・資本提携

2013年 東証第一部指定銘柄

2014年 創立70周年

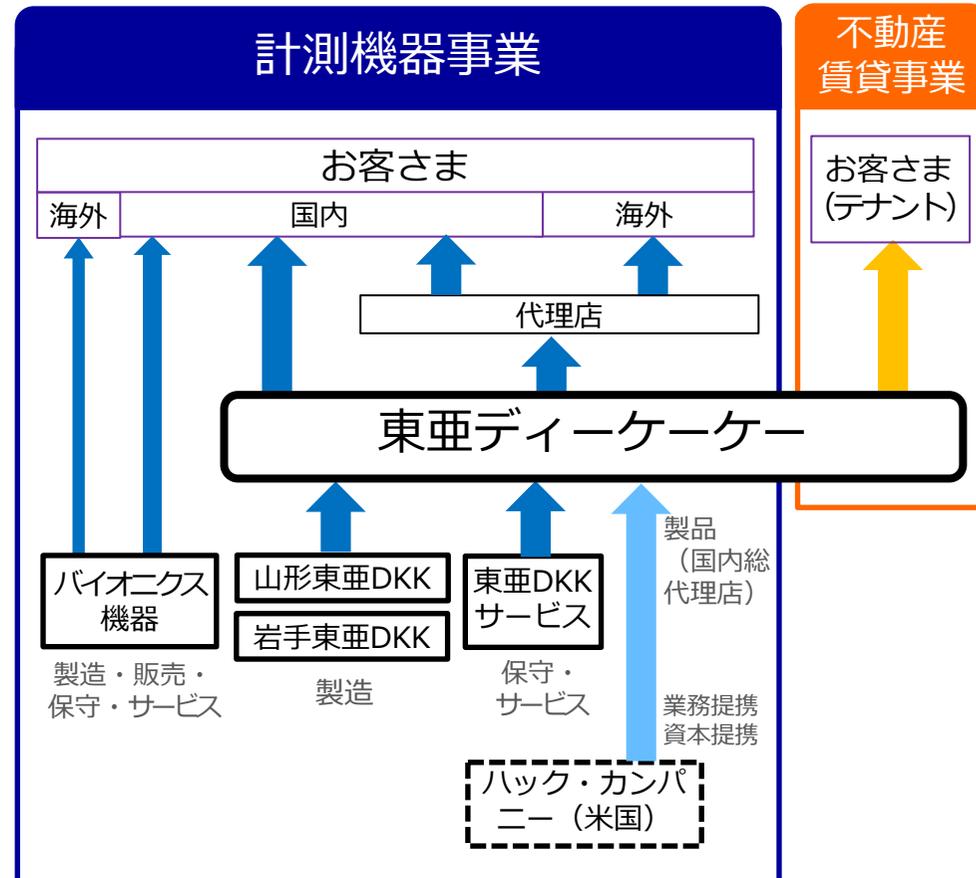
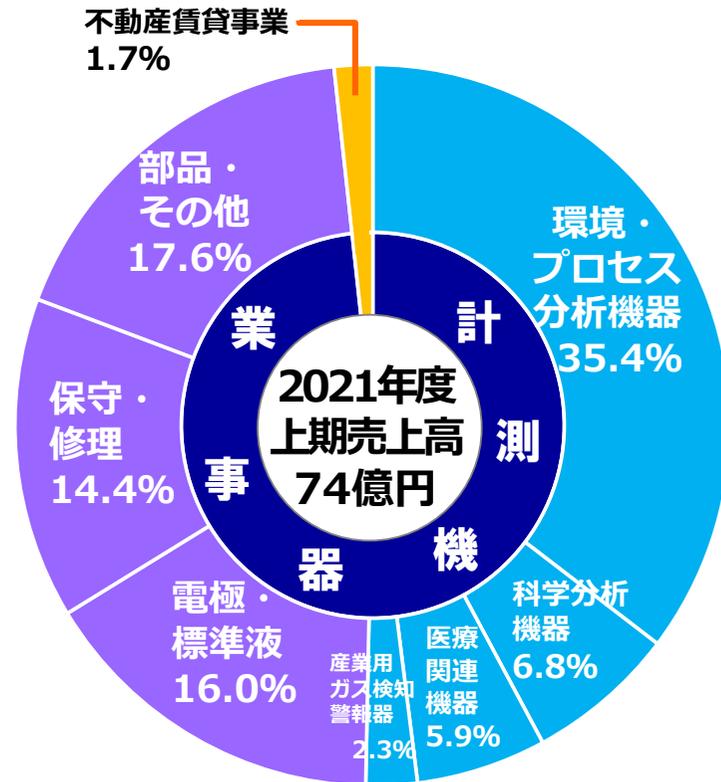
2020年 合併20周年

株主構成



(2021年9月末現在)

売上構成と事業系統



当社の強み

- 創立以来のpH計、電気伝導率計などの保有技術は幅広い用途に対応
- 公的機関はじめ、幅広い業種の企業とお取引
- 開発・製造・販売からアフターサービス（保守・修理）までの一貫体制

水	大気	医療	ガス
<p>環境・プロセス分析機器</p> <p>水道水用水質自動測定装置</p> <p>全窒素全りん計</p> <p>pH計</p> <p>電気伝導率計</p> <p>油膜検知器</p>	<p>PM2.5測定装置 国内シェアNO.1</p> <p>大気SO₂ SPM測定装置</p>	<p>医療関連機器</p> <p>透析用薬剤溶解装置</p> <p>エンドトキシン計</p>	<p>産業用ガス検知警報器</p> <p>ケミルミアルシン計</p>
<p>科学分析機器</p> <p>ラボ用水質計</p> <p>ポータブル用水質計</p>			

1. 会社概要
2. **2021年度上期の業績および
トピックス**
3. 2021年度通期業績予想

2021年度上期実績



■売上高：増収

(国内) 官公需は例年並み。民需は回復傾向で売上は微減も受注は高水準
(海外) 主に中国・韓国・台湾での販売が好調で増収

■利益：原価率上昇も、増収・販管費減少により増益

👉 単月黒字化145か月連続記録更新中 (2009年9月から12年1か月)

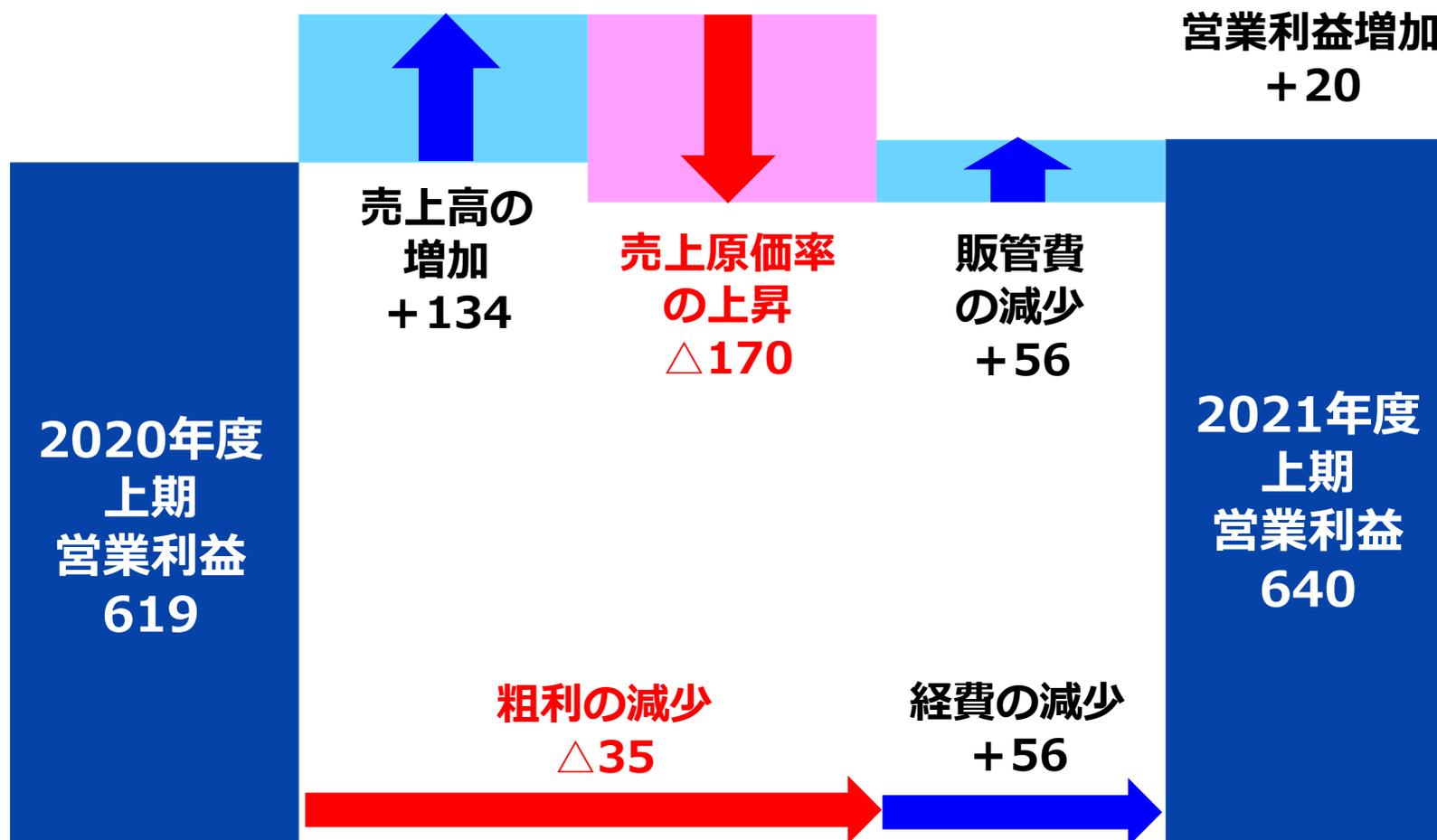
(単位:百万円)

	2020年度 上期実績	2021年度 上期実績	前年同期比増減	
			金額	率
売上高	7,085	7,434	349	+4.9%
営業利益 売上高比	619 8.7%	640 8.6%	20	+3.4%
経常利益 売上高比	646 9.1%	673 9.1%	27	+4.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益 売上高比	438 6.2%	465 6.3%	27	+6.4%

営業利益増減分析（前年同期比）



(単位:百万円)

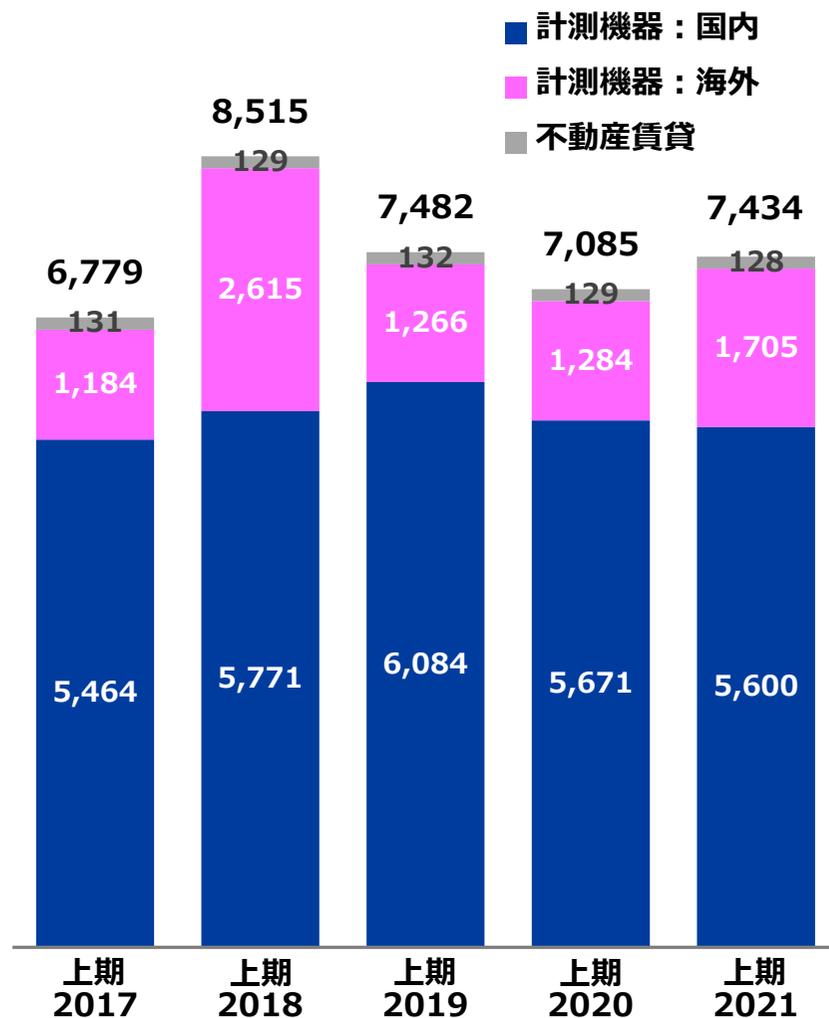


国別売上高推移

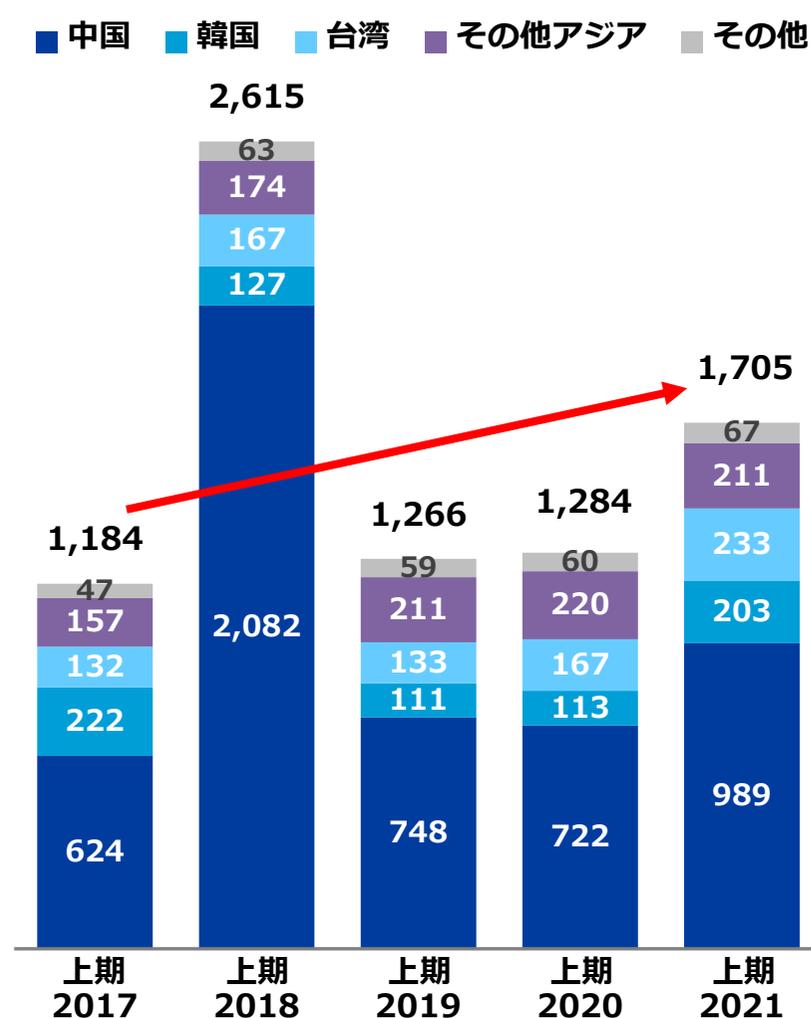


(単位:百万円)

国内外の売上高



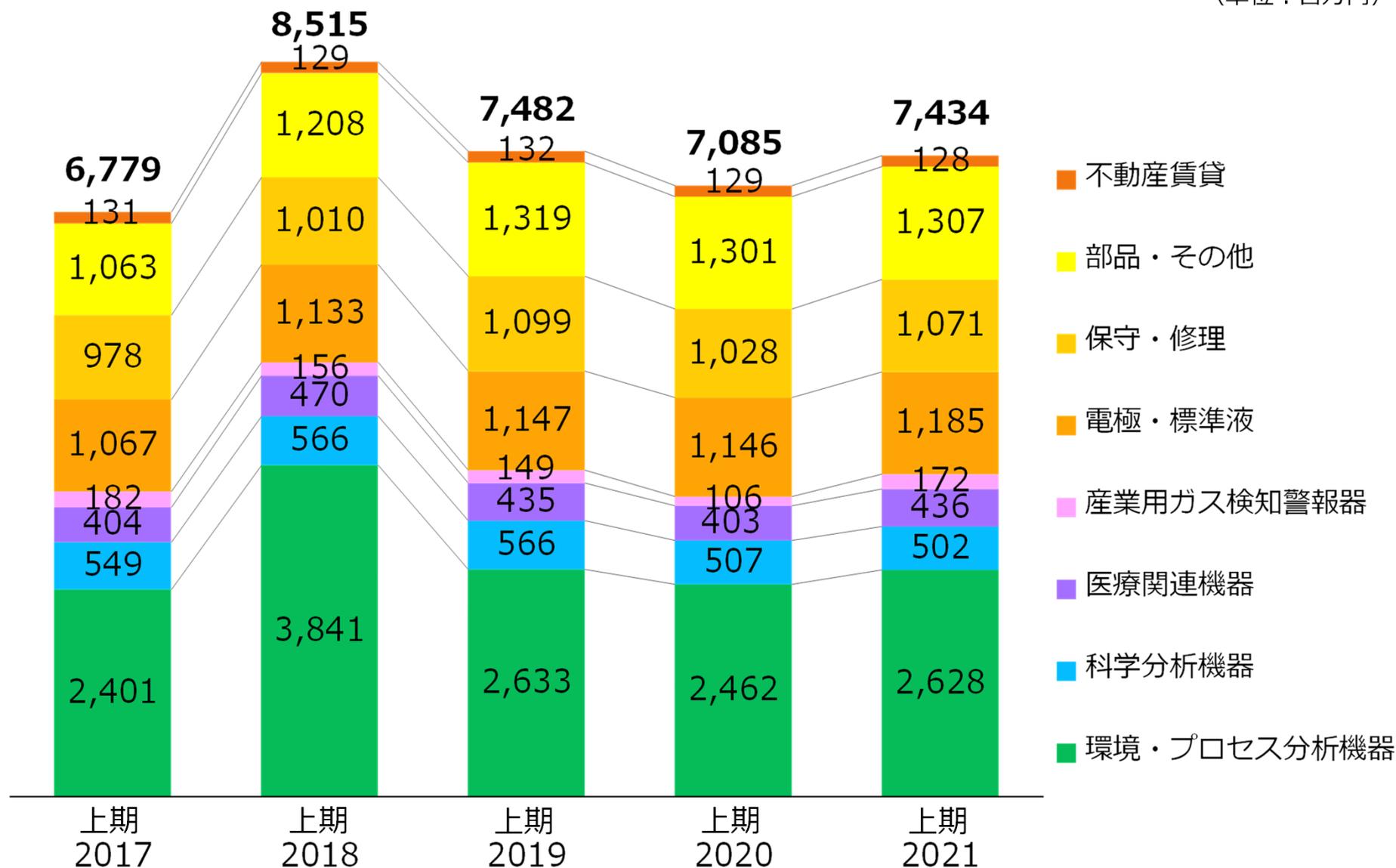
海外の国別売上高



分野別売上高構成推移

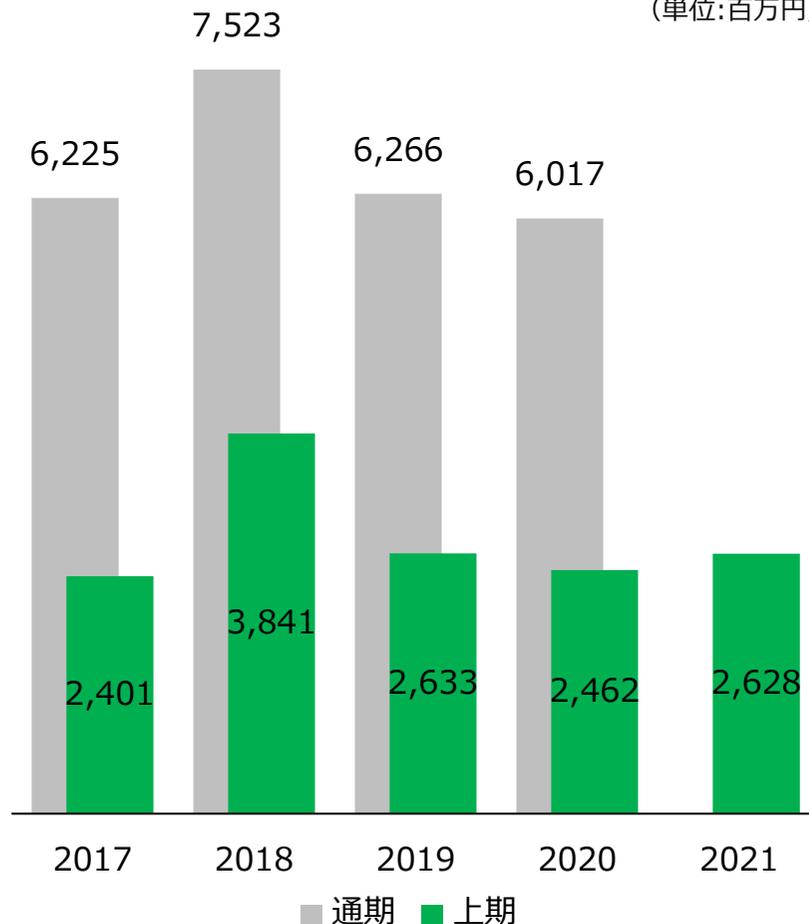


(単位：百万円)



環境・プロセス分析機器売上高

(単位:百万円)



■ 前年同期比 +6.8%
 (2020年度上期 vs 2021年度上期)



- 国内：民間企業向け基本プロセス計測器を中心に受注は高水準も上期売上に及ばずやや減収
- 海外：中国で環境用水質分析計、韓国で上水監視装置、台湾で半導体関連設備向け水質計の販売が好調で大幅増収



- 国内：売上は前年同期に届かなかったものの、受注は例年並み
- 海外：インドがコロナ禍で低調も、受注は回復傾向

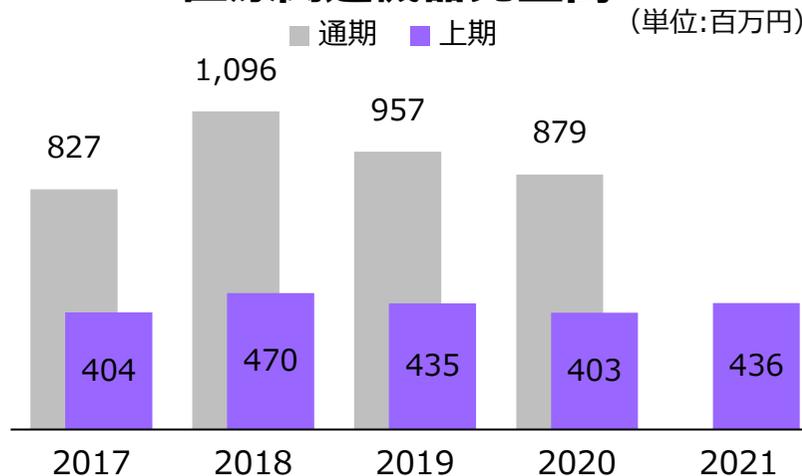
科学分析機器売上高



■ 前年同期比 $\triangle 0.9\%$
(2020年度上期 vs 2021年度上期)

- 大学や研究機関からの引き合いが回復基調
- 足元の売上は微減も、受注は順調に増加中

医療関連機器売上高

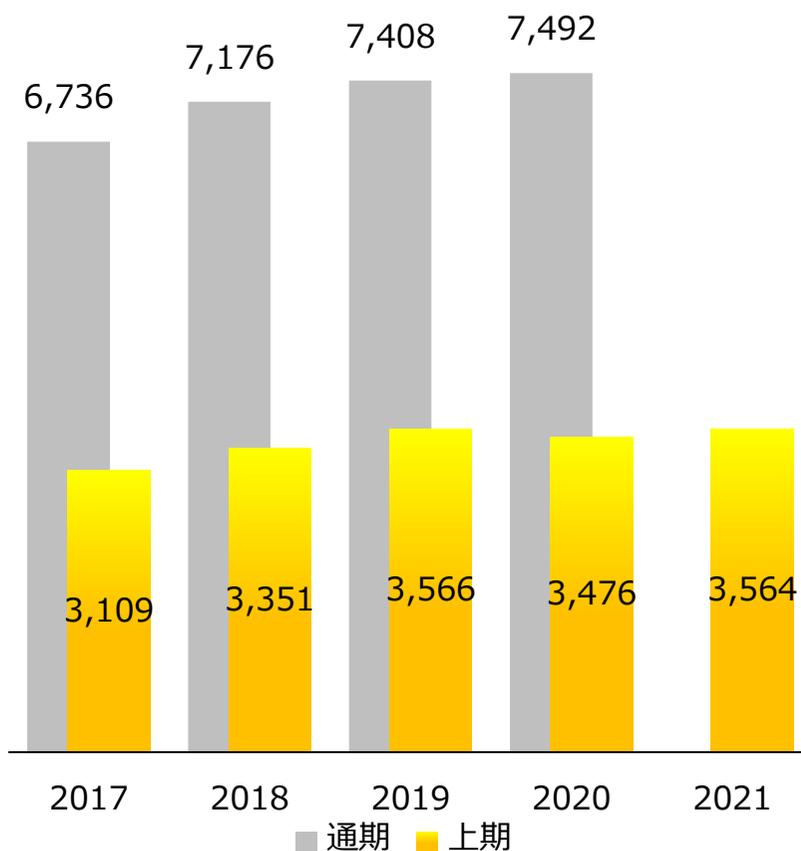


■ 前年同期比 $+ 8.3\%$
(2020年度上期 vs 2021年度上期)

- 病院の新規・買い替え需要が回復し増収
- 受注はさらに大きく伸長中
- ☞ 透析システムメーカーの海外展開を後押し

保守・補用品売上高

(単位:百万円)



■ 電極・標準液

前年同期比 +3.4%
(2020年度上期 vs 2021年度上期)

■ 保守・修理

前年同期比 +4.1%
(2020年度上期 vs 2021年度上期)

■ 部品・その他

前年同期比 +0.5%
(2020年度上期 vs 2021年度上期)

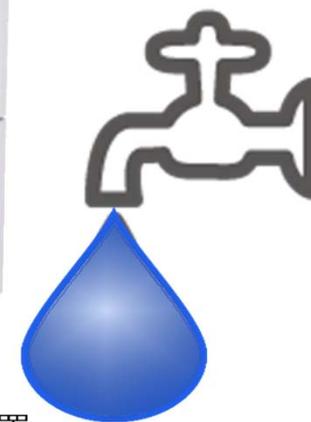
- コロナ禍においても設備稼働維持のための定期点検がほぼ計画通り行われ、保守・修理、部品は増収
- 全体では前年同期比2.5%増



200か所以上の水道水質監視案件を獲得!!



水道水用
水質自動測定装置



ソウル市内 新旧あわせて 300か所以上

📍 コロナ禍でも現地提携先共同で継続出展

中国



IE Expo China2021



CIEPEC

韓国



Korea Lab

📍 オンライン・Webコンテンツのさらなる充実



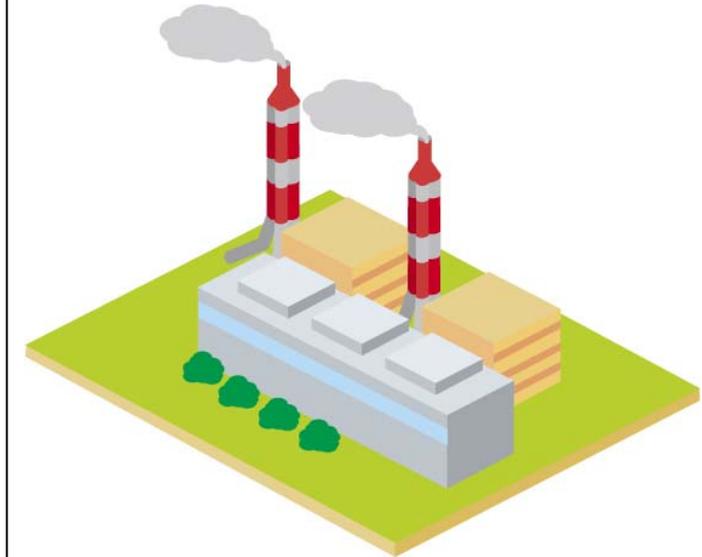
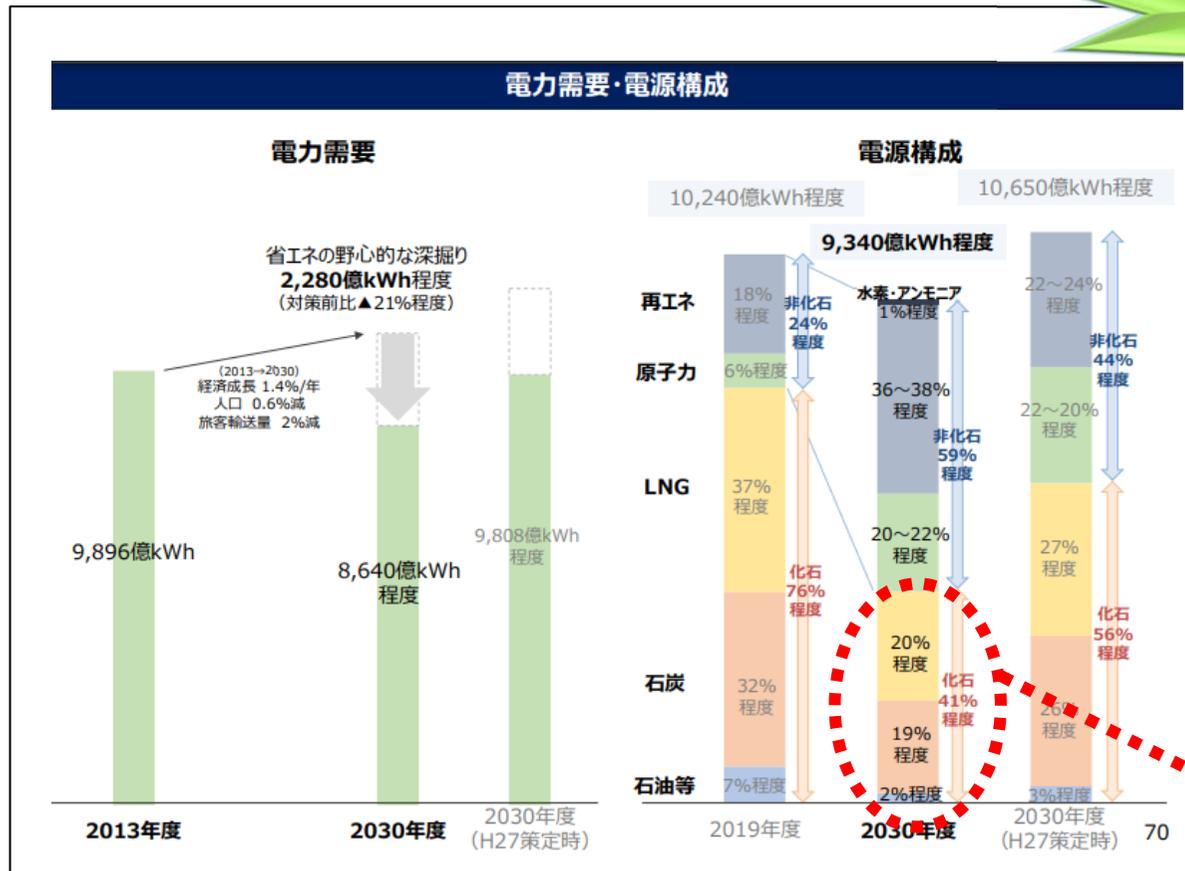
下水道展オンラインに出展



ヒンディー語など
多言語化の推進

2030年目標 CO₂排出量46%削減

転換期に高効率の発電で貢献



但し、2030年目標では依然40%を火力発電

経済産業省発表「2030年度におけるエネルギー需給の見通し」抜粋

高効率の発電所稼働を支える 水質監視システム



組み込まれている
水質分析計



pH計
電気伝導率計
溶存酸素計



pH検出器



シリカ計

小型システムはバイオマス発電で活躍！

新たな技術分野へ 活躍が期待される 分析計



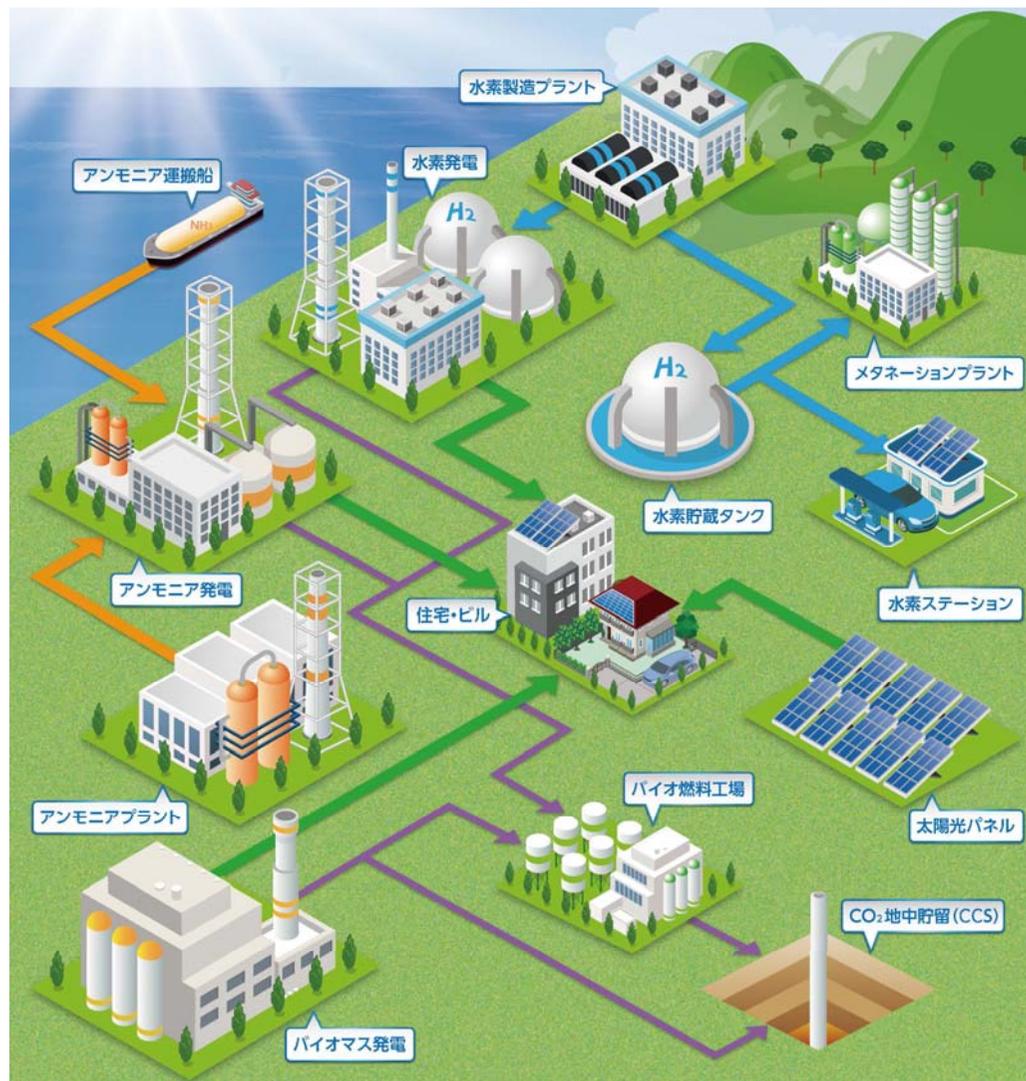
防爆エリア対応
各種水質分析計



アンモニアガス検知器



ABB社製
プロセスガスクロマトグラフ



水質管理と省エネで
環境負荷低減に貢献

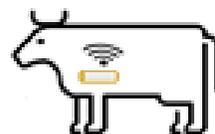
BOD監視システム



BOD値を短時間予測し、
曝気制御を実現

* BOD:生物化学的酸素要求量
排水処理上の重要な管理指標

家畜生体用無線伝送式 pHセンサー



乳用牛胃液pHの連続監視で、
乳用牛の健康と生産性の維持に寄与

「再エネ100宣言RE Action」に参加



「zeroboard」
株式会社ゼロボード（ゼロボード/東京都港区）が開発した、企業活動によって排出されたCO₂量を算出し、国際基準であるGHGプロトコルにおけるScope 1~3が可視化できるクラウドサービス



1. 会社概要
2. 2021年度上期の業績およびトピックス
- 3. 2021年度通期業績予想**

2021年度通期業績予想



<国内>

新型コロナウイルス感染症の終息には不透明感があるものの、設備投資は回復基調が続くと予想し、eコマースの立ち上げなどデジタルマーケティングの推進やアフタービジネスの強化により拡販

<海外>

中国の既存・新規分野での拡販及び、東南アジアを中核とする売上拡大

(単位:百万円)

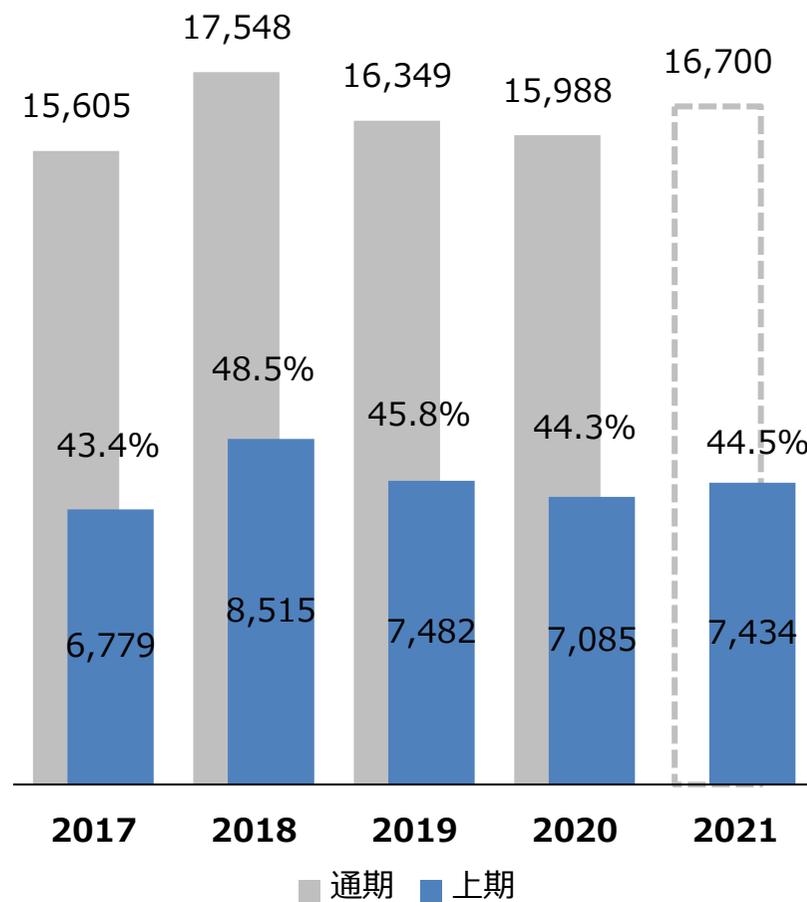
	2020年度 実績	2021年度 予想	前期比増減	
			金額	率
売上高	15,988	16,700	711	+4.4%
営業利益 売上高比	1,852 11.6%	2,000 12.0%	147	+8.0%
経常利益 売上高比	1,907 11.9%	2,060 12.3%	152	+8.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 売上高比	1,374 8.6%	1,440 8.6%	65	+4.8%

売上高・営業利益の推移

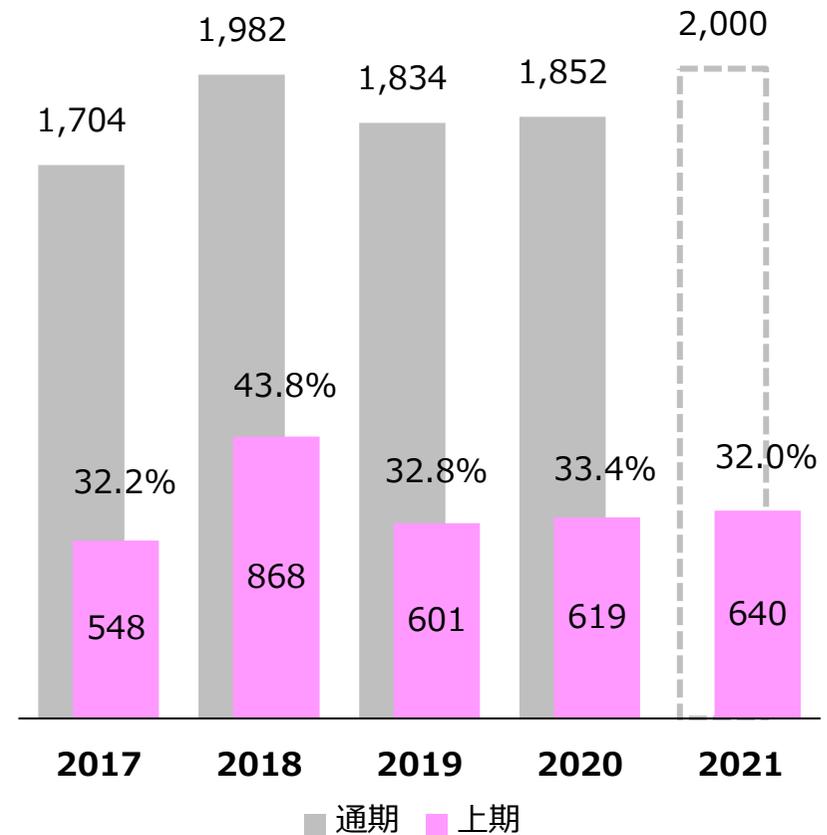


(単位:百万円)

売上高



営業利益



ご清聴ありがとうございました。

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆さまがいかなる目的にご利用される場合においても、皆さまご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

＜お問い合わせ＞
東亜ディーケーケー株式会社
経営戦略部
メール：ir@toadkk.co.jp